

高瀬川だより

NPO法人京都高瀬川繁栄会報
編集人 田村佐起三

〒六〇四一八〇〇一
京都市中京区木屋町通三条上ル
電話 (〇七五) 二二二二・一八二八

《若狭路は美味の街道》

「百井の里 とり幸」さん

「お店でお出ししている鶏は全て平飼いで自家育成しております。人里離れた山の麓で湧き水を飲み、草をついばみ、土の上を元気に走り回っています。白と黒の羽が特徴的な横班ブリモスロックという品種は、肉質が最高と言われています。噛み応えがあり、噛む度に肉汁と油が口内に広がります。今まで鶏が嫌いだったという方にも、是非お試しください。頂きたい自慢の鶏です。」とこだわりの鶏を語る百井の里とり幸さん。

私は故天納傳中恩師に昭和の終り頃連れて行って戴きました。当時はご自宅の居間で鶏のすき焼きを戴きました。それから定期的に通い、そのうちに現在の素敵な大きなお店を新築されました。

京都国立博物館

4月11日～5月31日

《西国三十三所草1300年記念特別展 聖地をたずねて 西国三十三所の信仰と至宝》

西国三十三所は日本最古の巡礼路でありその総距離は約一千キロメートルに及び、和歌山、大阪、兵庫、京都、奈良、滋賀、岐阜と近畿圏を包括するように伸びています。

長きに亘り、日本の首都であり、文化の中心地である京都に三分の一の霊場が集中していることから観音信仰と巡礼の文化は全国に広がりました。西国三十三所草創から1300年。これを機としてゆかりの深い京都の地で特別展を開催します。今もなお、老若男女、国籍を問わず、人々をひきつける巡礼の魅力を、美しい観音菩薩の姿や各札所の寺宝を通じて紹介します。観音信仰とともに守り伝えられてきた至宝の数々をご堪能ください。

私の本棚 おすすめの一冊 粉川 剛

《MMT現代貨幣理論入門/ランダル・レイ著》

MMTは日本経済の救世主になれるのか? ⑥
内閣府が発表した昨年10～12月期のGDPは年率換算でマイナス6.3%と大幅に落ち込んだ。個人消費、住宅、企業の設備投資はいずれもマイナスとなった。消費増税による経済の悪化を認めたくない政府は月例経済報告で暖冬や台風の影響はあつたものの雇用や所得の環境が底堅く「緩やかに回復」と述べている。景気動向指数は悪化しており今回のGDPの大幅な低下の大きな原因は消費増税であることは間違いないだろう。しかもこの数字は新型コロナウイルス蔓延以前のものであり1～3月のGDP値は更に悪化する恐れがある。中国のみならず日本でも目を追うごとに感染者が増え、観光、小売製造業まで多大な影響が出始めている。政府はしっかりと対策をたて新型コロナウイルスを一日も早く封じこめなければならぬ。紙幅の関係で紹介が出来なかつたが本書はMMTの中級向き「標準的教科書」。

土口哲光和尚の説法

《あるがままの自分を見失う》

「八十歳をすぐ前にして、それも大病から救われた身で果たして己がみえているのか」と、大目玉を喰らった。般若心経の冒頭は「観自在」から始まる。「自在」がままに観じよである。その経文を戴きながら、自分を在るがままにみるこゝろができない状態に陥っている。実際の自分は既に老境に入り、体力は落ちて、耳も難聴を来している。おぼつかない。その在りのままの自分の姿、行動をしつかりと確認できていないのが事実である。こゝろに着物を何枚も重ねて、しよぼしよぼする目に「色めがね」をかけているかのよう。自分の姿がまるで見えていない。この際、重ね着している心を露出し素っ裸に、在るがままの自分を観るようにつとめようと、覚悟した。

季節の家庭料理 田村 真紀

《四月 ホタテ貝柱と春野菜のフリッター》

《作り方・四人分》

ホタテ貝柱八個・新玉ねぎ一個・アスパラガス四本・スナップエンドウ八個・筍百グラム位
卵一個・牛乳半カップ・薄力粉百グラム・ベーキングパウダー小さじ半・塩適宜
ホタテは軽く塩を振り水気を拭く。新玉ねぎは輪切り、筍は一口大にする。アスパラは袴を取り三等分長さに切り、スナップエンドウは塩ゆでする。衣を作る。卵は卵白と卵黄に分け、ボウルに卵白と塩一つまみを入れ、角が立つまでしっかりと泡立てる。別のボウルに卵黄、牛乳を入れよく混ぜ、薄力粉、ベーキングパウダーも加え混ぜる。そこに卵白をさつくりと混ぜ合わせる。具材に衣をくぐらせ、百七十度の油でカラリと揚げる。

つれづれの記

山崎 辰巳

《野村克也氏のことば》

この2月、野村克也氏が亡くなった。プロ野球の選手、監督としての数々の記録と功績は今さら言うまでもない。「王や長嶋は向日葵。私は日本海の海辺に咲く月見草だ」との名言にあるように、京都府下の無名高校を経て一介のテスト生から始めた野球人生は常に棘の道であったに違いない。そこから得た気づきや悟りが語録や著作となつて今多くの人を惹きつけている。●部下を信じるといふのはリーダーの重要な資質●恥ずかしうと感ずることは常に自分を高める●敵に勝つより大事なこと●自己を過大評価した瞬間から思考の硬直が始まる●大きな舞台になればなるほど勝負は技術だけにとどまらず人間そのものの対決になる 等々。これら珠玉の言葉の数々。ぜひ一読をお勧めしたい。